

第15回全国キャラバン研修会 食事ケア班発足記念第1回研修会 「誤嚥予防を防ぐポジショニングと食事ケア ～ POTTプログラムで安全・安楽・自立支援～」

2024年12月22日（日） 12:30～16:00
聖路加国際大学 大村進・美枝子記念聖路加臨床学術センター4階

班長：迫田綾子 副班長：芳村直美 山田正己 委員長：大久保暢子
田中靖代 竹市美加 定松ルリ子 田畑千穂子 原等子 本村美和 杉山理恵
清水徳子 川端直子 松岡聖剛 水戸優子、
学生ボランティア3名、パラマウントベッド2名、モルテン1名
参加者皆様32名

超高齢社会の進行により摂食嚥下障害のある人は増加傾向にあり、適切な食事ケア技術の提供が求められています。食事ケアはアセスメントや食事介助など種々の技術を有しますが、今回は食事ケア技術の基盤である技術と教育方法が体系化されている食事時のポジショニング技術（POTTプログラム）を食事ケア班の発足記念の意味も込めて初回キャラバン研修会として企画しました。

本日のプログラム

1. 12:30 講義；誤嚥を防ぐポジショニングと食事ケアーPOTTプログラムで安全・安楽・自立支援ー
2. 13:10 ベッド上でのポジショニング デモ
3. 13:30 グループ演習（A/B/Cベッド D/E/F車いす）
ベッド・車いすに分かれPOTTスキル演習
- 14:15 グループ交代
4. 15:30 振り返り 意見交換
15:45 全体まとめ 集合写真 アンケート記入
5. 16:00 終了

一般社団法人 日本看護技術学会 技術研究成果検討委員会主催
第15回全国キャラバン研修会・食事ケア班発足記念
食事ケア：食べるよろこびを支え合う技術班企画

2024年 **12.22** (SUN)
受付開始 12:00～ 研修会 12:30～16:00

**安全・安楽で誤嚥を防ぐ
食事のポジショニング**

● 講義：誤嚥を防ぐポジショニングと食事ケアーPOTTプログラムで安全・安楽・自立支援ー
講師：迫田綾子 食事ケア班班長、日本赤十字広島看護大学名誉教授

● 演習：ベッド上・車いすでの食事ポジショニング
・小人数で基礎から体系的に学び合う
・各グループにはファシリテーター配置
・患者体験を大切にしながら実際に出来る基本を習得
・POTTスキルチェック表を活用

● 参加者交流・学びを共有

会場：聖路加国際大学
「大村進・美枝子記念聖路加臨床学術センター4階」
東京都中央区豊洲4丁目4-2 東京メトロ有明線 豊洲駅より徒歩3分

参加定員：50名（定員になり次第締め切り）
参加費：学会員 1,000円 非学会員 3,000円
持ち物：バスタオル、フェイスタオル、スプーン（大・小）
（ポジショニング体験、食事介助に活用） 演習ができる服装をお願いします。

【お申込み・お問い合わせ】
● 日本看護技術学会のホームページ <https://www.jnsn.jp/> よりお申込みください。
● 定員になり次第締め切りです。（2024年12月13日13時締切）
● 一般社団法人 日本看護技術学会事務局（株）春風社内 E-mail: jnsn@shunkusha.com 電話：03-5291-6231



迫田班長による講義

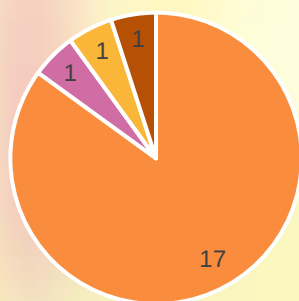


ポジショニングのデモの様子



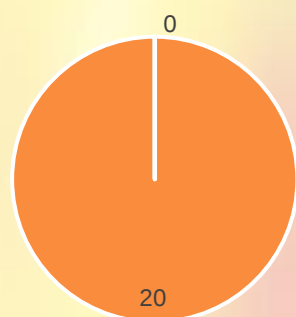
参加者アンケート集計結果 (回答者:20名)

1.職種



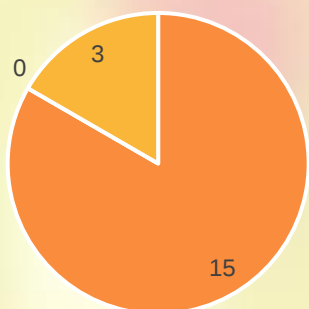
■ 看護師 ■ 言語聴覚士 ■ 認定看護師 ■ 管理栄養士

2.研修会は参考になりましたか



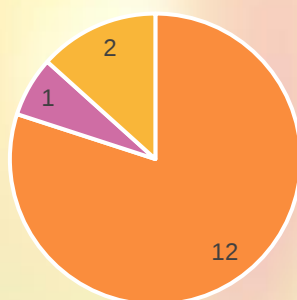
■ はい ■ いいえ ■ どちらでもない

3.ベッド上基本スキルは向上しましたか



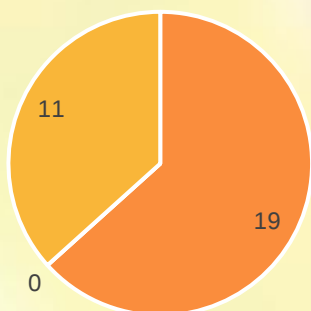
■ はい ■ いいえ ■ どちらでもない

4.車いすスキルは向上しましたか



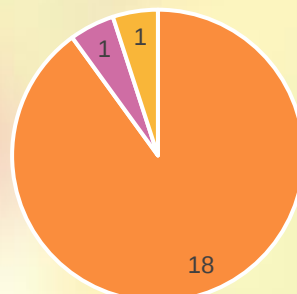
■ はい ■ いいえ ■ どちらでもない

5.姿勢アセスメントは活用できますか



■ はい ■ いいえ ■ どちらでもない

6.今後、職場や地域でのpottプログラムの活用や伝承をしたいと思いますか？



■ はい ■ いいえ ■ どちらでもない

第15回全国キャラバン研修会 食事ケア班発足記念第1回研修会 「誤嚥予防を防ぐポジショニングと食事ケア ～ POTTプログラムで安全・安楽・自立支援～」

参加者アンケート集計結果 自由記載 (回答者:20名)

7.研修会での学び舎全体的なご意見や感想をお聞かせください

- ・介護職にとっても重要なプログラムだと思いました
- ・在宅ケア学会など、介護系の方が参加するような学会とコラボして、介護職にもこのプログラムを広げていっていただきたいと思いました
- ・応用編があれば参加したい。評価方法が明らかになったので良かった
- ・田中先生からのスプーンテクニックを直接受けることが出来、感激でした
- ・ベッドでのポジショニングはいつも病院で実践していましたが、あらためて注意点がわかり学びとなりました
- ・車椅子は実践することや調整が難しいとおもいました。全体で重力のかかりから、体重の支え方など科学的に考える必要があることを実感しとても深いものだと感じた
- ・pottプログラムのテキストだけではなく、実践者の先生方から学べる視点が参考になる
- ・患者体験で再度確認できた点もあり、参加して本当に良かった
- ・看護師の実践と研究から生まれた臨床知、という点や具体的なスキルのポイントは多くの看護師や介護士、多職種に受け入れやすいと思う
- ・開始時間が参加しやすかったです。
- ・車椅子乗車時の座面を調整するマットを院内にあるもので自分で作成しようと思いました
- ・やはり体験して快適さを理解すると何とかしなくてはと思いました
- ・応用編があれば参加したい評価方法が明らかになったので良かった
- ・ポジショニングの姿勢を整えることがすべてのスタートであることが実感できました
- ・患者体験ができて良かったです
- ・スプーンテクニックも学ばせていただき、大変勉強になりました。有難うございました
- ・患者体験することにより、今までつらい姿勢を患者さんにさせていたと感じ、色々間違えて介助していた



参加者全員で記念撮影をしました！